



**YANMAR**

News Release

2025 年 1 月 9 日

ヤンマーホールディングス株式会社

## 水素燃料エンジン及び水素燃料電池システムの新たな生産 計画が環境省・国土交通省の「ゼロエミッション船等の建造 促進事業」に採択

ヤンマーホールディングスのグループ会社であるヤンマーパワーテクノロジー株式会社(以下、ヤンマーパワーテクノロジー)は、環境省および国土交通省の「ゼロエミッション船等の建造促進事業」(以下、本事業)において、「水素燃料エンジン及び水素燃料電池システムの新たな生産計画」を提案し、2025 年 1 月 9 日に採択されました。

本事業は、水素、バッテリーなどを推進エネルギー源とする「ゼロエミッション船等」の建造に必要となる水素燃料関連の生産設備の整備事業などを実施することにより、ゼロエミッション船等の生産体制を世界に先駆けて構築し、市場導入促進による CO<sub>2</sub> の排出削減を進めるとともに産業競争力強化・経済成長を図ることを目的としています。

ヤンマーグループは、持続可能な社会の実現に向け、「YANMAR GREEN CHALLENGE 2050」を推進しています。ヤンマーパワーテクノロジーはカーボンニュートラルな社会の実現を目指し、2023 年 8 月にはいち早く船舶用水素燃料電池システムの商品化しました。また、水素燃料エンジンの開発においても、内航船舶向け「発電用パイロット着火式水素 4 ストローク高速エンジン」の陸上実証試験を進め、定格出力約 500kW での運転に成功しました。

この度、ゼロエミッション船建造支援事業を活用することで、水素燃料エンジンの 2050 年の生産台数目標を 2040 年に前倒しします。さらに国際海事機関の定める GHG 削減戦略に先んじて、当社の船舶用パワーソースにおいて、水素燃料エンジンなどのカーボンニュートラルを実現する商品の生産割合を 2045 年頃に 100%とすることを目指します。

ヤンマーパワーテクノロジーは、今後もお客さまの脱炭素化実現に向け、環境に配慮したソリューションを提供してまいります。

<「YANMAR GREEN CHALLENGE 2050」について>

ヤンマーグループでは、持続可能な社会を目指し、「YANMAR GREEN CHALLENGE 2050」を推進しています。「GHG 排出量ゼロの企業活動を実現する」「循環する資源を基にした環境負荷フリーの企業活動を実現する」「お客様の GHG 排出ネガティブ・資源循環化に貢献する」という 3 つの課題に挑戦することで、ブランドステートメントに掲げる“A SUSTAINABLE FUTURE”を実現します。

詳しくは、ヤンマーのウェブサイト <https://www.yanmar.com/jp/about/ygc/> をご覧ください。

<ヤンマーについて>

1912 年に大阪で創業したヤンマーは、1933 年に世界で初めてディーゼルエンジンの小型実用化に成功した産業機械メーカーです。「大地」「海」「都市」のフィールドで、エンジンなどのパワートレインを軸に、アグリ、建機、マリネ、エネルギーシステムなどの事業をグローバルに展開。環境負荷フリー・GHG フリーの企業を目指し、顧客価値を創造するソリューションを提供しています。未来を育むヤンマーの価値観「HANASAKA」を基盤に、ブランドステートメントとして掲げる“A SUSTAINABLE FUTURE”を実現します。

詳しくは、ヤンマーのウェブサイト <https://www.yanmar.com/jp/about/> をご覧ください。

<注記>

記載内容はリリース発表時点のものです。最新の情報とは内容が異なっている場合がありますのでご了承ください。

---

【報道関係者お問い合わせ先】

ヤンマーホールディングス株式会社

ブランド部コミュニケーション部 広報担当

E-mail: [koho@yanmar.com](mailto:koho@yanmar.com)